

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 8 月 4 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3890200029		
法人名	医療法人 仁明会		
事業所名	グループホーム はとり		
所在地	今治市南宝来町37712 (電話) 0898-34-3837		
管理者	原文香		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 6 月 9 日	評価確定日	平成 20 年 8 月 6 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 5 月 19 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 5 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 20 人, 非常勤 人, 常勤換算 20 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 5 月 19 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	名	要介護 2	4 名
要介護 3	8 名	要介護 4	4 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 85 歳	最低 65 歳	最高 97 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ビルの1階がデイサービスセンター、2階と3階がホームになっている。開設から2年経ち、管理者をはじめ全職員が、利用者に居心地の良い場所を、との思いでケアに努めている姿勢が感じられる。職員の演奏する曲にあわせて行う音楽療法や階段運動などを取り入れた運動療法などを行い、楽しみごとの支援や機能の維持向上に努めている。道を隔てた隣に運営法人である病院があり、医療との連携には恵まれた環境にある。市の中心であるオフィス街という立地のため、地域密着を目指すには難しいところもあるが、自治会や学校等、できることから手がかりを

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回評価を受けて職員全員でよく話し合い、遅れがちだった運営推進会議を2か月ごとに行う、自己評価についてミーティング等で話し合う、毎月一回ミーティングを実施するなど、改善に努めている。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

職員全員で取り組むため、見えるところに張り出し、各々気づいたことを書き込んでもらっている。それを各ユニットの責任者がまとめ、最終的に管理者が作成している。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

ホームの活動や行事報告、職員の研修状況の報告等が主な内容である。今後に向けてよりメンバーとの距離を縮め、意見や助言を出してもらえるような関係づくりのための取り組みに期待する。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

毎月の手紙や電話で、何でも言ってもらえる関係を築く努力をしている。家族の訪問が多いので、話を聞きながら家族の思いを汲み取るうとしている。家族会はあるが、現在まで苦情は出てきていない。意見箱は設置されていないが、ホーム内に苦情相談窓口を設置し、公的な相談窓口の連絡先もあわせて明記している。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

盆踊り、祭り、その他地域行事の際は、町内の方がホームにも立ち寄ってくれるなど、地域との交流を図っている。自治会に加入しているため、自治会や運営推進会議のメンバーから地域の情報を提供してもらい、ホーム側からも積極的に地域との交流を広げていくことを期待する。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 医療法人 仁明会 グループホーム はとり

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 原文香

評価完了日 平成 20 年 6 月 9 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) ご利用者が、自分の家庭で暮らすように、住み慣れた地域で、楽しく、健やかに、自分らしく暮らせるよう願って事業所の理念としています。  (外部評価) 「楽しく、健やかに、自分らしく暮らす」という理念は、地域の中で利用者がその人らしく暮らし続けられるよう、そしてそれを支えていこうとの思いがこもった、ホーム独自のものとなっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関に運営理念を掲示して、職員に運営理念を伝えケアカンファレンス時に、理念の実践に向けて理念に沿った目標を立てている。  (外部評価) 短くわかりやすい理念であり、管理者と職員は理解し共有している。利用者に笑顔での声かけを心がけるなど、日々のケアの中でも理念の実践に意識的に取り組んでいる。1階の玄関に理念が掲げられているがわかりにくく、ホームの入り口にも見つけられない。	※	ホームは建物の2階と3階部分にあるので、誰でも見ることができるようホームごとの入り口にも理念を掲げることを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族には、入所時、訪問時や家族会時に伝えている。地域住民については、設置前から事業所の理念役割を説明し伝え、地域の集まりやイベントに参加し事業所の実践を伝えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩や買い物に出かけて、近隣の人たちと挨拶を交わしている。又、気軽に立ち寄ってもらえるよう、声掛けを行なっている。	※	近隣の方にたくさん訪問して頂けるように、声かけを行いたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の文化祭やお祭り、盆踊り等には、出来るだけ参加するようにしている。自治会に加入し地域に溶け込むことが出来るよう勤めている。	※	地域の行事に積極的に参加したい。
			(外部評価) オフィス街にあり周囲には官公庁・医療機関・会社などが多く、つきあいが希薄になりがちな地域であるが、その中で自治会の掃除や地域行事にも積極的に参加するなど努力しているが、地域の方との交流の幅に広がりを感じられにくい。	※	自治会に加入しているので、会合に出席した時などを利用して、地域の方との交流を広げることを期待する。運営推進会議のメンバーから情報をもらい、ホーム側からも積極的に地域に働きかけることが望まれる。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 管理者は、事業所での実践内容を踏まえ、地域の研修にかかわりながら認知症ケアの啓発に努めている。又、人材育成の貢献として実習生の受け入れも積極的に行なっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を職員の意見を聞き、サービスの質の向上に努めている。外部評価の結果は、ミーティングで報告している。	※	外部評価結果の改善点を何度も繰り返してミーティングを行い、これからの運営に活かしていきたい。
			(外部評価) ユニットごとに自己評価しており、自己評価を気づきの機会と捉えている。ホームは閉ざされた世界になる可能性があるとの認識のもと、様々な機会を得て評価結果を公開し、違った視点からの意見をもらい、改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議では、利用者の状況やサービスの実際を報告し、話し合った意見をサービス向上に活かしている。  (外部評価) 前回評価を受けて、2か月毎に開催するよう改善している。ホーム側の活動報告や職員研修の報告が主な内容となっているが、運営推進会議の資料にある出席者は氏名だけなので、どういう立場の方なのかかわからない。	※	運営推進委員のメンバーに婦人会・老人会・PTAなど多くの地域住民の参加を働きかけ、活発な意見交換を望みたい。メンバーの構成や会議の内容・出席率など、マンネリ化しないよう検討することを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 事業所は、不明なことは運営推進会議以外にも、市役所担当者の方に相談して、サービスの質の向上に取り組んでいる。  (外部評価) 地域包括支援センター職員に様々な相談をしている。市担当者には電話で質問や相談をしており、事故報告があるときは速やかに対応している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者や職員は、成年後見制度、地域福祉権利擁護事業を理解し、対応が必要と思われる利用者が居る場合は、パンフレットを用意して、利用者のご家族に説明または、民生委員、社会福祉協議会等に相談を行い対応している。	※	成年後見制度、地域福祉権利擁護事業の対応が必要と思われる利用者に対して、引き続き対応を行いたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者や職員は、虐待の危険を早期に見つけられるよう、カンファレンス時に話し合っている。	※	虐待の具体的な内容を、職員に周知し、今度も虐待の危険がないよう努力していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、利用者や家族と十分な面談を行い説明し納得していただいてから契約書を交わすようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者や職員が日々の利用者の話を傾聴し、利用者本人の意見や苦情を聞く機会を設けている。また、意見を上手に表すことの出来ない利用者には、コミュニケーションにより本人の意向を探っている。御家族の面会毎に会話に努め意見、不満、苦情の出やすい雰囲気を作っている。	※	ご利用者の話しを傾聴して、意見や苦情を上手に聞き出せるように努力したい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の来所時には、利用者の状況や事業所内での暮らしぶりやエピソードなどを、写真等で伝え、話し合っている。又、心身の状況変化や問題が起きたときには、必ず電話や手紙でご家族に報告し相談ごとも相談している。金銭管理については、月1回の利用料支払い時に、金銭出納長を明示して報告を行なっている。  (外部評価) 毎月手紙を出し、また何かあるときはその都度電話している。現在、ホーム便りの発行を検討している。遠方の家族には月に1回は電話で暮らしぶり等について報告している。金銭出納帳は作っているが、確認印はもらっていない。	※	ホームと家族、相互の確認のためにも、金銭出納帳に確認印をもらうことが望まれる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族には、電話や手紙、訪問字や家族会時にといかけ、何でも言うていただけるような雰囲気作りに留意している。意見については、ミーティングやカンファレンス時に話し合い運営に反映している。  (外部評価) 家族がよくホームを訪れてくれるので、意見等を来訪時に聞くようにしている。家族会の前にアンケートを取っている。意見箱は設置していないが、ホーム内と公的相談窓口を重要事項説明書に明記している。	※	家族から意見を出してもらう手法のひとつとして意見箱の設置について検討することを望む。家族会の際に意見を出してもらうためにはどうしたらよいかについても職員間で再検討してみることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の定期ミーティングを行い、意見を聞き運営に反映させている。又、職員の希望する勤務態勢に勤めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者に柔軟に対応が出来るように、必要な時間に職員を配置し、管理者は、柔軟な対応が出来るように通常シフトに入れていない。	※	これからも、ご利用者の状況に合わせて柔軟に対応していきたい。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者は、利用者がなじみの関係を継続できるように、異動や離職を最小限に抑える努力をしている。ユニット事に職員を固定しなじみの顔の中で生活できるようにしている。	※	引き続いて、職員の異動や離職を最小限に抑える努力をしていきたい。
			(外部評価) 利用者も職員も相互に馴染みの関係が築けるようにとの思いから、ユニット内で担当者を半年ごとにローテーションしている。行事の際はユニット同士の交流があるので、他ユニットの職員とも顔馴染みになるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 運営者は、管理者や職員育成のため、研修計画を作成して、法人内外の研修を受けることが出来るよう配慮している。	※	これからも、内外の研修に積極的に参加し、介護の質の向上を図りたい。
			(外部評価) 外部研修へは積極的に参加しており、講師を招いての内部研修も実施している。初任者には先輩がついて教育し、初めて夜勤をする時は先輩とともに夜勤にあたるようにしている。運営者及び管理者は、職員のレベルアップによりホームの質をより向上させるよう努力している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 愛媛県グループホーム連絡協議会に所属して、管理者や職員が同業者と交流する機会を持ち、相互研修事業にも参加してサービスの質の向上に努めている。  (外部評価) グループホーム連絡協議会に加入しており、他ホームとの交流に努めてケアの質向上を図っている。市内の1つのホームとも交流を持っており、相互のレベルアップを目指している。	※	今年度も、相互研修事業に参加してサービスの質の向上に努めたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 日常や面談時に職員の話をよく聞き、各職員の背景やストレスを理解するよう努力している。勤務時間中にも気分転換が出来るように、同じ建物の違うフロアに休憩室やシャワールームを確保している。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職業能力開発推進者を選任し、職員の資格取得に向けた支援を行なっている。研修の希望が叶うように人材の確保を行っている。	※	引き続き、資格取得に向けた支援を行いたい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用説明時や、利用前訪問時に本人家族と面談し、生活状況を把握するよう努め、利用者によっては、同じ建物内にある通所等を利用していただき、ご本人の心身の状況や思いを理解できるように勤めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 申し込み時、入所前に、ご家族と面談してご家族が希望しているものを理解し、事業所として対応できることを事前に話し合いをしている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に、早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、地域の包括支援センター、居宅介護支援事業所や他の事業所のサービスにつなげるなどの対応をしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご本人やご家族に事業所を見学してもらい、頻回に遊びに来てもらったりして、利用するように勤めている。  (外部評価) 利用が決まったら管理者やケアマネジャーが自宅を訪問し、生活ぶりなどを見せてもらってその方を理解するよう努めている。家族や本人にも何度かホームに来てもらい、徐々に慣れてもらうよう配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 支援する側、支援される側という意識を持たず、職員と利用者が共働しながら和やかな生活が出来るように場面作りや声かけをしている。また、職員利用者とも相手に対する感謝の心を忘れないように、「ありがとう。」の言葉がけをしている。  (外部評価) 神事や正月の飾り方などの知恵を教えてもらっている。祭りのお礼の仕方など、経験豊富な利用者の教えで助かっており、言葉遣い・季節のこと・接客方法・人との関わり方など、教えてもらうことも多いと職員は感じている。	※	ご利用者と職員が共働し、ともに感謝しながら生活するようにしたい。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や職員の思いをきめ細かく伝え、家族の協力を得ながら、本人を支えていくために共働関係を築いてきている。	※	ご家族とともに、ご利用者を支えていく努力をした

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人、ご家族の状況や思いを見極め、来所されるよう促したり行事にお誘いしたり、また、外出を進めたりして、ご本人とご家族の関係の調整に勤めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地域に暮らす、なじみの友人などに来ていただけるように働きかけている。	※	なじみの友人などに気安く来て頂けるよう、これからも声かけを行っていききたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ご利用者同士の関係性について、職員間で情報を共有できるようにしている。食事の用意など利用者同士で協力して行なってもらうようにし、円滑な関係が続くように配慮している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他の事業所に移られた方も、地域でお会いしたときには近況などをお聞きして、関係を断ち切らないように努力している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のかかわりの中で声かけを行い、把握するように努めている。又、ご家族からも情報を得るように努力している。  (外部評価) まずは利用者ごとに担当者が本人とよく話すことを日頃から心がけている。困難なときは態度や表情から汲み取る努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用時に自宅に訪問したり、ご本人やご家族、関係者などから情報を得るように努力している、入所後も、ご本人やご家族などから少しずつ、どのような生活をされてきたのか聞くようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの1日の暮らし方や生活のリズムを把握し、ご利用者を全人的に把握するように努めている。	※	ご利用者一人ひとりを、全人的に把握できるようにしていきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人やご家族には日頃のかかわりの中で、思いや意見を聞き計画に反映させるようにしている。職員でケアカンファレンスを行い計画をたてている。 <hr/> (外部評価) 来訪時の会話や電話等で、本人や家族の希望を聞いている。また、担当職員の気づきや意見も取り入れて、できることはしてもらい、笑顔で楽しく生活することを心がけた介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の期間に応じて介護計画を見直ししており、計画期間前にご本人の状態に変化が生じたときには、ご本人の介護状態に合わせて、介護計画を見直しし対応している。 <hr/> (外部評価) 毎週評価して変化のある人はその都度見直し、1か月ごとのミーティングで確認し合い、3か月ごとに新たな計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別にファイルを用意して、身体状況や日々の暮らしの様子や本人の言葉、エピソード等を記録している。又、カードックスを利用して記録の共有を図っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ご利用者への柔軟な支援が出来るように、医療機関と連携し疾病時や緊急時の対応を行なっている。  (外部評価) 家族の急な宿泊に対応できる部屋もあり、利用者の居室に泊まることもできる。外出の希望にもできるだけ対応するように努めている。医療との連携体制も整っている。送迎は有料及び無料、ケースによりどちらにも対応している。	※	医療機関との連携を活かして、疾病や緊急時に対応していきたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者が、地域での暮らしを続けられるように、民生委員、自治会と意見交換する機会を設けている。	※	地域の学校や警察、消防と連携を図り協力しながら支援していく体制を強化したい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ご本人の希望や体調に応じて、訪問美容サービスを利用している。また、居宅介護支援事業所とも連携を保ち相談援助を行なっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に、地域包括支援センターの職員を参加していただいております。自治会、民生委員、一般住民等によって構成される人的ネットワーク組織の構築に向けて、協働している。	※	人的ネットワークの幅を広げてゆきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の協力医のほか、入所前のかかりつけ医で医療が受けられるように、ご家族と協力して通院介助を行ったり、訪問診療に来ていただいている。  (外部評価) 本人や家族が希望するかかりつけ医で受診している。協力医療機関より月に1回往診がある。かかりつけ医への受診は基本的にホームが対応しているが、待ち時間の長い病院などは家族の協力も得ている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関の内科医で指示や助言を受けているがそれでも困難な事例には、認知症専門医の受診が受けられるように支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行なっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、本人に関する情報を医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにしている。また、事業所内での対応可能な段階でなるべく退院できるようにアプローチしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末に対する対応方針を定め、ご利用者の状態に合わせて医師、ご家族、看護師と話し合いを行い、状態の変化ごとにご本人、ご家族の思いに添えるように情報を共有している。  (外部評価) 運営法人が医療機関であり、また管理者と計画作成担当者は看護師と救急救命士の資格を有しており、看取りに関する指針のマニュアルも作成している。早い段階から本人及び家族と話し合い、また状態が変化していく度に話し合いを持つようにしている。	※	ホーム内でできることと、できないことを見極め、無理をせず対応していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご本人やご家族の思いを大切に、医師、職員が連携を取り、急変した場合にはすぐに対応していただけるようにしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた場合、情報提供所をお渡しし、情報交換を行なっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) ご利用者一人ひとりのプライバシーに配慮し、目立たずさりげない排泄誘導の言葉掛けを行い対応し、外来者に対して、職員がご本人の、プライバシーに関する話を話さないようにしている。  (外部評価) 個人情報を含む書類等は事務のロッカーで適切に保管しており、職員に対して守秘義務についてしっかり教育している。個人の写真は当該家族だけに渡すようにしており、写真も個人用のファイルを作っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 職員の思いを押し付けないようにして。生活のほとんどの場面で、ご利用者が自分で決めることが出来るよう支援している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して支援している。  (外部評価) 昼食時に起きてこられない利用者がいたが、職員は何度か声かけをしながらも無理強いせず、起きて来るのを待ってから皆から遅れて別に食事を出していた。行事などで外出する時も、行きたくない方は職員と留守番をすることもある。職員の都合に合わせず利用者のペースに合わせるよう努めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替えは、ご本人の来た衣服を着ていただき、季節や気温に合わせてさりげなく助言を行なっている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニューはご利用者の意見も聞きながらメニュー表を作成し、食事の下ごしらえや食器の用意等をご利用者さんへ手伝っていただきながら、職員が調理を行なっている。食事はご利用者と職員が同じテーブルで、同じものを一緒に食べ、後片付けは、職員ご利用者全員で行なっている。  (外部評価) 献立を立てていても、食べたい物のリクエストがあれば急遽変更することもある。嗜好調査をしたり、摂取量に気を配り、利用者が喜ぶ食事を心がけている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ご本人が望む嗜好品を理解し、ご利用者の意見を聞いて好みのものをたべることができるよう援助している。タバコに関しては禁煙施設のため禁煙となっている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で、各個人の排泄時間、排泄週間を把握し、トイレで排泄が出来るように支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴は、朝から一番で入浴したいという希望者が多いため、職員が調整に入って利用者間で話し合い、入浴の順番を決めている。入浴前に本人に確認を行い希望で入浴していただいている。  (外部評価) 一番に入りたいという利用者が多いことと衛生面を考えて、一人ひとり入浴ごとにお湯を入れ替えている。毎日入りたい方や1日おきに入りたい方など、利用者ごとの希望に合わせるようにしている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動を促し、生活リズムを整えるように支援している。ご利用者各個人の体調に合わせて、個別に休息をしていただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 洗濯や、洗濯たたみ、調理の下ごしらえなど、自主的に出来ることでホームでの役割を持っていただいている。  (外部評価) 洗濯物をたたんだり、花を植えるなどの役割をもって生活できるよう配慮している。外に出ることが気晴らしになるので、気候のいい時期は弁当を持ってドライブに行くこともある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 日曜日には職員と近所のスーパーへ自分の必要品の買い物に行き、買いたいものを購入している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ご本人の希望に応じて、散歩や買い物、ドライブやお参り等へ出掛けている。車椅子ご利用の方も職員の介助で、散歩や買い物に出かけている。  (外部評価) お菓子や雑貨などを買いに行ったり、家族の協力も得ながら外出支援に努めている。四季折々の花なども見に行っている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご本人が、生きたいと希望する遠くの場所への外出は、職員の勤務を調整したり、家族の援助を依頼したりして出かけることの出来る機会を作っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご利用者様がご家族に電話を掛けることが出来るよう、援助を行なっている。又、ご家族やご親戚と手紙のやり取りが出来るように支援をしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ご家族、知人、ご近所の方が気軽に来ることが出来るように、居心地の良い空間作りを心がけている。	※	ホームでの催しを行い、ご家族、知人、ご近所の方に来て頂けるようにしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束が行なわれないように、職員間で共有意識を持っており、ケアカンファレンス時に、点検を行なっている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者が、外出しそうな様子を見せたら、声をかけたり外出に誘ったりして、安全に配慮し日中は、玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支えるようにしている。  (外部評価) 鍵を掛けないケアに取り組んでおり、センサーも設置して、職員には出入りがわかるようになっている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は、利用者と同じ空間で記録などの作業を行ないながら、全員の状況を把握するようつとめている。夜間は、夜勤者が、2時間おきに巡回を行い、利用者の様子を確認している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ご利用者の状態に合わせて、危険な薬剤や洗剤などは保管管理をしている。塩素系の消毒剤などは、飲料水の消毒に使用している物を使用している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 日々のひやりハットを記録し、職員の共有意識を図っている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の研修を実施している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に、利用者とともに、避難訓練を行っている。地域の協力体制については、自治会や運営推進会議で協力をして頂けるようお願いしている。  (外部評価) 災害時の備蓄は外部業者と契約している。防火扉や階段なども広く取られている。夜間緊急のマニュアルや緊急連絡網を作成し、避難訓練をしているが、地域との協力体制はまだ整っていない。	※	夜間を想定した訓練や、近所の方や地区の消防団を交えた訓練を繰り返し実施し、地域の協力体制を整えることを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 様々な役割活動や外出が、ご利用者の方の行動障害を軽減していることをご家族に説明し、抑制感のない暮らしを大切にしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員は、ご利用者の普段の状態を把握しており、体調不良や些細な変化も見逃さないように早期発見に取り組んでいる。様子の変化が見られた時には、バイタルチェックを行い、休日や夜間でも管理者に報告し、医療受診につなげている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ファイルを作成している。服薬時は後本人に手渡し、服用確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜や乳製品を、献立を工夫して食べて頂き、又、毎日運動を行い自然排便できるように取り組んでいる。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨きの声かけを行い、出来る力に応じて見守り、一部介助などの援助を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量をだまかに把握し、食事摂取状況をチェック量に記録している。疾病などから栄養摂取の必要なご利用者には、栄養補助食品を利用するなどして体力が維持できるように援助している。  (外部評価) 栄養面については1日の摂取カロリーの目安を設けている。入浴や外出時には必要に応じて水分摂取に気を配っている。食事の写真を撮って、栄養バランス等を栄養士にチェックしてもらっている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症の研修を事業所内で行い、全職員で学習して予防、対策に努めている。又、ご利用者ご家族に同意して頂き、職員ともにインフルエンザの予防接種を受けている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板やふきん等は、毎日漂白し清潔を心がけている。冷蔵庫も定期的に点検掃除を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 自宅の玄関と変わらないような玄関を心がけている。 花を生けたり玄関先にプランターをおいたりして季節感を出している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に応じた装飾を心がけている。  (外部評価) 外からの光が充分入るよう工夫がされていて、ユニット全体が明るい。トイレやお風呂の手すりなど、安全面での配慮がなされている。窓にはプランターを飾っており、風や季節感を感じられる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有の居間とは別に、畳の部屋にテレビと炬燵を置いており、ひとりで過ごしたり、仲の良い方どうしで過ごせるようにしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご利用者が、今まで使用していたダンスや、使い慣れた日用品を使用している。  (外部評価) 家族が整理筆筒に本人のわかりやすいように大きなラベルを貼っている部屋など、利用者ごとに居室を使いやすくする工夫があり、個人に合った居心地のよい部屋になっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) ご利用者の状態に合わせて、冷暖房温度を調節し、一定時間には換気を行い、又24時間換気扇は、常時使用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ご本人の活動性を維持するために、車椅子や歩行器を個人の状態に合わせて使用している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) ご利用者にとって何がわかりにくいのかを把握し、カンファレンスを行い、混乱や失敗を防ぐように工夫している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭に花を植えたり、玄関先にプランターをおいて利用者が楽しめるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。



V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

毎日の余暇活動を行っている。

毎日の食事は利用者との相談の上、ホームの職員が利用者とともに下ごしらえをして、調理している。

休日は、全く予定を決めず自由な日としており、晴れたらドライブや買い物、又雨の日には、職員が演奏するキーボードに合わせて歌を歌って楽しんでいる。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	医療法人 仁明会 グループホーム はとり
(ユニット名)	2階
記入者(管理者)	
氏名	原文香
評価完了日	平成 20 年 5 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) ご利用者が、自分の家庭で暮らすように、住み慣れた地域で、楽しく、健やかに、自分らしく暮らせるよう願って事業所の理念としています。  (外部評価) 「楽しく、健やかに、自分らしく暮らす」という理念は、地域の中で利用者がその人らしく暮らし続けられるよう、そしてそれを支えていこうとの思いがこもった、ホーム独自のものとなっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関に運営理念を掲示して、職員に運営理念を伝えケアカンファレンス時に、理念の実践に向けて理念に沿った目標を立てている。  (外部評価) 短くわかりやすい理念であり、管理者と職員は理解し共有している。利用者に笑顔での声かけを心がけるなど、日々のケアの中でも理念の実践に意識的に取り組んでいる。1階の玄関に理念が掲げられているがわかりにくく、ホームの入り口にも見つけられない。	※	ホームは建物の2階と3階部分にあるので、誰でも見ることができるようホームごとの入り口にも理念を掲げることを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族には、入所時、訪問時や家族会時に伝えている。地域住民については、設置前から事業所の理念役割を説明し伝え、地域の集まりやイベントに参加し事業所の実践を伝えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩や買い物に出かけて、近隣の人たちと挨拶を交わしている。又、気軽に立ち寄ってもらえるよう、声掛けを行なっている。	※	近隣の方にたくさん訪問して頂けるように、声かけを行いたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の文化祭やお祭り、盆踊り等には、出来るだけ参加するようにしている。自治会に加入し地域に溶け込むことが出来るよう努めている。	※	地域の行事に積極的に参加したい。
			(外部評価) オフィス街にあり周囲には官公庁・医療機関・会社などが多く、つきあいが希薄になりがちな地域であるが、その中で自治会の掃除や地域行事にも積極的に参加するなど努力しているが、地域の方との交流の幅に広がりを感じられにくい。	※	自治会に加入しているので、会合に出席した時などを利用して、地域の方との交流を広げることを期待する。運営推進会議のメンバーから情報をもらい、ホーム側からも積極的に地域に働きかけることが望まれる。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 管理者は、事業所での実践内容を踏まえ、地域の研修にかかわりながら認知症ケアの啓発に努めている。又、人材育成の貢献として実習生の受け入れも積極的に行なっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を職員の意見を聞き、サービスの質の向上に努めている。外部評価の結果は、ミーティングで報告している。	※	外部評価結果の改善点を何度も繰り返してミーティングを行い、これからの運営に活かしていきたい。
			(外部評価) ユニットごとに自己評価しており、自己評価を気づきの機会と捉えている。ホームは閉ざされた世界になる可能性があるとの認識のもと、様々な機会を得て評価結果を公開し、違った視点からの意見をもらい、改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議では、利用者の状況やサービスの実際を報告し、話し合った意見をサービス向上に活かしている。  (外部評価) 前回評価を受けて、2か月毎に開催するよう改善している。ホーム側の活動報告や職員研修の報告が主な内容となっているが、運営推進会議の資料にある出席者は氏名だけなので、どういう立場の方なのかかわからない。	※	運営推進委員のメンバーに婦人会・老人会・PTAなど多くの地域住民の参加を働きかけ、活発な意見交換を望みたい。メンバーの構成や会議の内容・出席率など、マンネリ化しないよう検討することを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 事業所は、不明なことは運営推進会議以外にも、市役所担当者の方に相談して、サービスの質の向上に取り組んでいる。  (外部評価) 地域包括支援センター職員に様々な相談をしている。市担当者には電話で質問や相談しており、事故報告があるときは速やかに対応している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者や職員は、成年後見制度、地域福祉権利擁護事業を理解し、対応が必要と思われる利用者が居る場合は、パンフレットを用意して、利用者のご家族に説明または、民生委員、社会福祉協議会等に相談を行い対応している。	※	成年後見制度、地域福祉権利擁護事業の対応が必要と思われる利用者に対して、引き続いて対応を行いたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者や職員は、虐待の危険を早期に見つけられるよう、カンファレンス時に話し合っている。	※	虐待の具体的な内容を、職員に周知し、今度も虐待の危険がないよう努力していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、利用者や家族と十分な面談を行い説明し納得していただいてから契約書を交わすようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者や職員が日々の利用者の話を傾聴し、利用者本人の意見や苦情を聞く機会を設けている。また、意見を上手に表すことの出来ない利用者には、コミュニケーションにより本人の意向を探っている。御家族の面会事に会話に努め意見、不満、苦情の出やすい雰囲気を作っている。	※	ご利用者の話しを傾聴して、意見や苦情を上手に聞き出せるように努力したい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の来所時には、利用者の状況や事業所内での暮らしぶりやエピソードなどを、写真等で伝え、話し合っている。又、心身の状況変化や問題が起きたときには、必ず電話や手紙でご家族に報告し相談ごとにも相談している。金銭管理については、月1回の利用料支払い時に、金銭出納長を明示して報告を行なっている。		
			(外部評価) 毎月手紙を出し、また何かあるときはその都度電話している。現在、ホーム便りの発行を検討している。遠方の家族には月に1回は電話で暮らしぶり等について報告している。金銭出納帳は作っているが、確認印はもらっていない。	※	ホームと家族、相互の確認のためにも、金銭出納帳に確認印をもらうことが望まれる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族には、電話や手紙、訪問字や家族会時にといかけ、何でも言っていただけるような雰囲気作りに留意している。意見については、ミーティングやカンファレンス時に話し合い運営に反映している。		
			(外部評価) 家族がよくホームを訪れてくれるので、意見等を来訪時に聞くようにしている。家族会の前にアンケートを取っている。意見箱は設置していないが、ホーム内と公的相談窓口を重要事項説明書に明記している。	※	家族から意見を出してもらう手法のひとつとして意見箱の設置について検討することを望む。家族会の際に意見を出してもらうためにはどうしたらよいかについても職員間で再検討してみることを期待する。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の定期ミーティングを行い、意見を聞き運営に反映させている。又、職員の希望する勤務態勢に勤めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者に柔軟に対応が出来るように、必要な時間に職員を配置し、管理者は、柔軟な対応が出来るように通常シフトに入れていない。	※	これからも、ご利用者の状況に合わせて柔軟に対応していきたい。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者は、利用者がなじみの関係を継続できるように、異動や離職を最小限に抑える努力をしている。ユニット毎に職員を固定し、なじみの顔の中で生活できている。	※	引き続いて、職員の異動や離職を最小限に抑える努力をしていきたい。
			(外部評価) 利用者も職員も相互に馴染みの関係が築けるようにとの思いから、ユニット内で担当者を半年ごとにローテーションしている。行事の際はユニット同士の交流があるので、他ユニットの職員とも顔馴染みになるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 運営者は、管理者や職員育成のため、研修計画を作成して、法人内外の研修を受けることが出来るよう配慮している。学生アルバイトの人もチームの一員として参加してもらい、将来の人材育成に取り組んでいる。	※	これからも、内外の研修に積極的に参加し、介護の質の向上を図りたい。
			(外部評価) 外部研修へは積極的に参加しており、講師を招いての内部研修も実施している。初任者には先輩がついて教育し、初めて夜勤をする時は先輩とともに夜勤にあたるようにしている。運営者及び管理者は、職員のレベルアップによりホームの質をより向上させるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 愛媛県グループホーム連絡協議会に所属して、管理者や職員が同業者と交流する機会を持ち、相互研修事業にも参加してサービスの質の向上に努めている。  (外部評価) グループホーム連絡協議会に加入しており、他ホームとの交流に努めてケアの質向上を図っている。市内の1つのホームとも交流を持っており、相互のレベルアップを目指している。	※	今年度も、相互研修事業に参加してサービスの質の向上に努めたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 日常や面談時に職員の話をよく聞き、各職員の背景やストレスを理解するよう努力している。勤務時間中にも気分転換が出来るように、同じ建物の違うフロアに休憩室やシャワールームを確保している。また、職員の個人的都合も考慮に入れた勤務態勢に勤めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職業能力開発推進者を選任し、職員の資格取得に向けた支援を行なっている。研修の希望が叶うように人材確保をしたり、職員間の介護知識を毎朝の申し送りで活かしている。	※	引き続き、資格取得に向けた支援を行いたい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用説明時や、利用前訪問時に本人家族と面談し、生活状況を把握するよう努め、利用者によっては、同じ建物内にある通所等を利用していただき、ご本人の心身の状況や思いを理解できるように勤めている。ご本人と個人的に話のできる雰囲気作りに努め相談に乗っている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 申し込み時、入所前に、ご家族と面談してご家族が希望しているものを理解し、事業所として対応できることを事前に話し合いをしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に、早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、地域の包括支援センター、居宅介護支援事業所や他の事業所のサービスにつなげるなどの対応をしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご本人やご家族に事業所を見学してもらい、頻回に遊びに来てもらったりして、利用するように勤めている。  (外部評価) 利用が決まったら管理者やケアマネジャーが自宅を訪問し、生活ぶりなどを見せてもらってその方を理解するよう努めている。家族や本人にも何度かホームに来てもらい、徐々に慣れてもらうよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 支援する側、支援される側という意識を持たず、職員と利用者が共働しながら和やかな生活が出来るように場面作りや声かけをしている。また、職員利用者とも相手に対する感謝の心を忘れないように、「ありがとう。」の言葉がけをしている。  (外部評価) 神事や正月の飾り方などの知恵を教えてもらっている。祭りのお礼の仕方など、経験豊富な利用者の教えで助かっており、言葉遣い・季節のこと・接客方法・人との関わり方など、教えてもらうことも多いと職員は感じている。	※	ご利用者と職員が共働し、ともに感謝しながら生活するようにしたい。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や職員の思いをきめ細かく伝え、家族の協力を得ながら、本人を支えていくために共働関係を築いてきている。	※	ご家族とともに、ご利用者を支えていく努力をしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人、ご家族の状況や思いを見極め、来所されるよう促したり行事にお誘いしたり、また、外出を進めたりして、ご本人とご家族の関係の調整に勤めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地域に暮らす、なじみの友人などに来ていただけるように働きかけている。	※	なじみの友人などに気安く来て頂けるよう、これからも声かけを行っていきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ご利用者同士の関係性について、職員間で情報を共有できるようにしている。食事の用意など利用者同士で協力して行なってもらうようにし、円滑な関係が続くように配慮している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他の事業所に移られた方も、地域でお会いしたときには近況などをお聞きして、関係を断ち切らないように努力している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のかかわりの中で声かけを行い、把握するように努めている。又、ご家族からも情報を得るように努力している。  (外部評価) まずは利用者ごとに担当者が本人とよく話すことを日頃から心がけている。困難なときは態度や表情から汲み取る努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用時に自宅に訪問したり、ご本人やご家族、関係者などから情報を得るように努力している、入所後も、ご本人やご家族などから少しずつ、どのような生活をされてきたのか聞くようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの1日の暮らし方や生活のリズムを把握し、ご利用者を全人的に把握するように努めている。	※	ご利用者一人ひとりを、全人的に把握できるようにしていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人やご家族には日頃のかかわりの中で、思いや意見を聞き計画に反映させるようにしている。職員でケアカンファレンスを行い計画をたてている。 <hr/> (外部評価) 来訪時の会話や電話等で、本人や家族の希望を聞いている。また、担当職員の気づきや意見も取り入れて、できることはしてもらい、笑顔で楽しく生活することを心がけた介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の期間に応じて介護計画を見直ししており、計画期間前にご本人の状態に変化が生じたときには、ご本人の介護状態に合わせて、介護計画を見直しし対応している。 <hr/> (外部評価) 毎週評価して変化のある人はその都度見直し、1か月ごとのミーティングで確認し合い、3か月ごとに新たな計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別にファイルを用意して、身体状況や日々の暮らしの様子や本人の言葉、エピソード等を記録している。又、カードックスを利用して記録の共有を図っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ご利用者への柔軟な支援が出来るように、医療機関と連携し疾病時や緊急時の対応を行なっている。  (外部評価) 家族の急な宿泊に対応できる部屋もあり、利用者の居室に泊まることもできる。外出の希望にもできるだけ対応するように努めている。医療との連携体制も整っている。送迎は有料及び無料、ケースによりどちらにも対応している。	※	医療機関との連携を活かして、疾病や緊急時に対応していきたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者が、地域での暮らしを続けられるように、民生委員、自治会と意見交換する機会を設けている。	※	地域の学校や警察、消防と連携を図り協力しながら支援していく体制を強化したい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ご本人の希望や体調に応じて、訪問美容サービスを利用している。また、居宅介護支援事業所とも連携を保ち相談援助を行なっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に、地域包括支援センターの職員を参加していただき、自治会、民生委員、一般住民等によって構成される人的ネットワーク組織の構築に向けて、協働している。	※	人的ネットワークの幅を広げてゆきたい。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の協力医のほか、入所前のかかりつけ医で医療が受けられるように、ご家族と協力して通院介助を行ったり、訪問診療に来ていただいている。  (外部評価) 本人や家族が希望するかかりつけ医で受診している。協力医療機関より月に1回往診がある。かかりつけ医への受診は基本的にホームが対応しているが、待ち時間の長い病院などは家族の協力も得ている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関の内科医で指示や助言を受けているがそれでも困難な事例には、認知症専門医の受診が受けられるように支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行なっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、本人に関する情報を医療機関に提供し、頻りに職員が見舞うようにしている。また、事業所内での対応可能な段階でなるべく退院できるようにアプローチしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末に対する対応方針を定め、ご利用者の状態に合わせて医師、ご家族、看護師と話し合いを行い、状態の変化ごとにご本人、ご家族の思いに添えるように情報を共有している。  (外部評価) 運営法人が医療機関であり、また管理者と計画作成担当者は看護師と救急救命士の資格を有しており、看取りに関する指針のマニュアルも作成している。早い段階から本人及び家族と話し合い、また状態が変化していく度に話し合いを持つようにしている。	※	ホーム内でできることと、できないことを見極め、無理をせず対応していきたい。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご本人やご家族の思いを大切に、医師、職員が連携を取り、急変した場合にはすぐに対応していただけるようにしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた場合、情報提供所をお渡しし、情報交換を行なっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) ご利用者一人ひとりのプライバシーに配慮し、目立たずさりげない排泄誘導の言葉掛けを行い対応し、外来者に対して、職員がご本人の、プライバシーに関する話を話さないようにしている。  (外部評価) 個人情報を含む書類等は事務のロッカーで適切に保管しており、職員に対して守秘義務についてしっかり教育している。個人の写真は当該家族だけに渡すようにしており、写真も個人用のファイルを作っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 職員の思いを押し付けないようにして。生活のほとんどの場面で、ご利用者が自分で決めることが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して支援している。  (外部評価) 昼食時に起きてこられない利用者がいたが、職員は何度か声かけをしながらも無理強いせず、起きて来るのを待ってから皆から遅れて別に食事を出していた。行事などで外出する時も、行きたくない方は職員と留守番をすることもある。職員の都合に合わせず利用者のペースに合わせるよう努めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替えは、ご本人の来た衣服を着ていただき、季節や気温に合わせてさりげなく助言を行なっている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニューはご利用者の意見も聞きながらメニュー表を作成し、食事の下ごしらえや食器の用意等をご利用者さんに手伝っていただきながら、職員が調理を行なっている。食事はご利用者と職員が同じテーブルで、同じものを一緒に食べ、後片付けは、職員ご利用者全員で行なっている。  (外部評価) 献立を立てていても、食べたい物のリクエストがあれば急遽変更することもある。嗜好調査をしたり、摂取量に気を配り、利用者が喜ぶ食事を心がけている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ご本人が望む嗜好品を理解し、ご利用者の意見を聞いて好みのものをたべることができるよう援助している。タバコに関しては禁煙施設のため禁煙となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で、各個人の排泄時間、排泄週間を把握し、トイレで排泄が出来るように支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴は、朝から一番で入浴したいという希望者が多いため、職員が調整に入って利用者間で話し合い、入浴の順番を決めている。入浴前に本人に確認を行い希望で入浴していただいている。  (外部評価) 一番に入りたいという利用者が多いことと衛生面を考えて、一人ひとり入浴ごとにお湯を入れ替えている。毎日入りたい方や1日おきに入りたい方など、利用者ごとの希望に合わせているようにしている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動を促し、生活リズムを整えるように支援している。ご利用者各個人の体調に合わせて、個別に休息をしていただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 洗濯や、洗濯たたみ、調理の下ごしらえなど、自主的に出来ることでホームでの役割を持っていただいている。  (外部評価) 洗濯物をたたんだり、花を植えるなどの役割をもって生活できるよう配慮している。外に出ることが気晴らしになるので、気候のいい時期は弁当を持ってドライブに行くこともある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 日曜日には職員と近所のスーパーへ自分の必要品の買い物に行き、買いたいものを購入している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ご本人の希望に応じて、散歩や買い物、ドライブやお参り等へ出掛けている。車椅子ご利用の方も職員の介助で、散歩や買い物に出かけている。  (外部評価) お菓子や雑貨などを買いに行ったり、家族の協力も得ながら外出支援に努めている。四季折々の花なども見に行っている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご本人が、生きたいと希望する遠くの場所への外出は、職員の勤務を調整したり、家族の援助を依頼したりして出かけることの出来る機会を作っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご利用者がご家族に電話を掛けることが出来るよう、援助を行なっている。又、ご家族やご親戚と手紙のやり取りが出来るように支援をしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ご家族、知人、ご近所の方が気軽に来ることが出来るように、居心地の良い空間作りを心がけている。	※	ホームでの催しを行い、ご家族、知人、ご近所の方に来て頂けるようにしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束が行なわれないように、職員間で共有意識を持っており、ケアカンファレンス時に、点検を行なっている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者が、外出しそうな様子を見せたら、声をかけたり外出に誘ったりして、安全に配慮し日中は、玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支えるようにしている。  (外部評価) 鍵を掛けないケアに取り組んでおり、センサーも設置して、職員には出入りがわかるようになっている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は、利用者と同じ空間で記録などの作業を行ないながら、全員の状況を把握するようつとめている。夜間は、夜勤者が、2時間おきに巡回を行い、利用者の様子を確認している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ご利用者の状態に合わせて、危険な薬剤や洗剤などは保管管理をしている。塩素系の消毒剤などは、飲料水の消毒に使用している物を使用している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 日々のひやりハットを記録し、職員の共有意識を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の研修を実施している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に、利用者とともに、避難訓練を行っている。地域の協力体制については、自治会や運営推進会議で協力をして頂けるようお願いしている。  (外部評価) 災害時の備蓄は外部業者と契約している。防火扉や階段なども広く取られている。夜間緊急のマニュアルや緊急連絡網を作成し、避難訓練をしているが、地域との協力体制はまだ整っていない。	※	夜間を想定した訓練や、近所の方や地区の消防団を交えた訓練を繰り返し実施し、地域の協力体制を整えることを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 様々な役割活動や外出が、ご利用者の方の行動障害を軽減していることをご家族に説明し、抑制感のない暮らしを大切にしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員は、ご利用者の普段の状態を把握しており、体調不良や些細な変化も見逃さないように早期発見に取り組んでいる。様子の変化が見られた時には、バイタルチェックを行い、休日や夜間でも管理者に報告し、医療受診につなげている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ファイルを作成している。服薬時は後本人に手渡し、服用確認を行っている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜や乳製品を、献立を工夫して食べて頂き、又、毎日運動を行い自然排便できるように取り組んでいる。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨きの声かけを行い、出来る力に応じて見守り、一部介助などの援助を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を大まかに把握し、食事摂取状況をチェック量に記録している。疾病などから栄養摂取の必要な利用者には、栄養補助食品を利用するなどして体力が維持できるように援助している。  (外部評価) 栄養面については1日の摂取カロリーの目安を設けている。入浴や外出時には必要に応じて水分摂取に気を配っている。食事の写真を撮って、栄養バランス等を栄養士にチェックしてもらっている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症の研修を事業所内で行い、全職員で学習して予防、対策に努めている。又、ご利用者ご家族に同意して頂き、職員ともにインフルエンザの予防接種を受けている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板やふきん等は、毎日漂白し清潔を心がけている。冷蔵庫も定期的に点検掃除を行っている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 自宅の玄関と変わらないような玄関を心がけている。 花を生けたり玄関先にプランターをおいたりして季節感を出している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に応じた装飾を心がけている。  (外部評価) 外からの光が充分入るよう工夫がされていて、ユニット全体が明るい。トイレやお風呂の手すりなど、安全面での配慮がなされている。窓にはプランターを飾っており、風や季節感を感じられる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有の居間とは別に、畳の部屋にテレビと炬燵を置いており、ひとりで過ごしたり、仲の良い方どうしで過ごせるようにしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご利用者が、今まで使用していたダンスや、使い慣れた日用品を使用している。  (外部評価) 家族が整理筆筒に本人のわかりやすいように大きなラベルを貼っている部屋など、利用者ごとに居室を使いやすくする工夫があり、個人に合った居心地のよい部屋になっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) ご利用者の状態に合わせて、冷暖房温度を調節し、一定時間には換気を行い、又24時間換気扇は、常時使用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ご本人の活動性を維持するために、車椅子や歩行器を個人の状態に合わせて使用している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) ご利用者にとって何がわかりにくいのかを把握し、カンファレンスを行い、混乱や失敗を防ぐように工夫している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭に花を植えたり、玄関先にプランターをおいて利用者が楽しめるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、活き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

毎日の余暇活動を行っている。

毎日の食事は利用者との相談の上、ホームの職員が利用者とともに下ごしらえをして、調理している。

休日は、全く予定を決めず自由な日としており、晴れたらドライブや買い物、季節ごとの花を見に行くなどしている。